

教育のつどい2022分科会

●…8/20(土)のみ
10:00~17:00

●…8/21(日)のみ
9:30~16:00

●…両日開催

1 国語教育

国語教育の変質・空洞化に抗して、人間的な成長(人格形成)をめざす教育活動としての国語教育を創造したいと思いません。具体的な実践を集めて語り合しましょう。

2 外国語教育

すべての子どもたちに外国語を学ぶ喜びを！ ことばの力と協同する心を育て、平和な世界をめざす外国語教育の実践を交流しましょう。

3 社会科教育

改訂学習指導要領により社会科教育の学習観が大きくゆがめられようとしています。今こそ全国の実践をもとに、これからの社会科教育を考えていきましょう。

4 数学教育

子どもたちにとって本当に必要な“数学の学び”とは何か？ 生活につながる数学とは何か？ 子どもたちと創る授業実践をもとにみんなで話し合しましょう。

5 理科教育

GIGAスクール構想がすすめられる時こそ、様々な教育現場の教育実践から成果と課題を読み取り、児童生徒のため、よりよい理科授業のあり方を探りましょう。

6 美術教育

子どもたちの表現に寄り添い、実践を読みひらき、表現者を育てる美術教育をみんなで考えます。日々の実践を持ち寄って、全国の仲間と交流しましょう。

7 音楽教育

コロナ禍が続く中、子どもたちと教材を間にして育ち合う音楽の授業をどう工夫するか。なぜ歌うのか、音楽でどう語りかけることができるか、学び合しましょう。

8 書写・書教育

「書で人間丸ごと育てる」という壮大な実践が、コロナ禍に負けず展開されています。主体的に書く子どもたちのいきいきとした作品を通して討論を行います。

9 技術・職業教育

技術・職業教育を取り巻く環境とリわけ中学・技術科は、指導時間の少なさ、教員不足といった大きな課題を抱えています。発表レポートでは、子どもとともに学ぶ姿勢がみられます。これらの実践を共有する分科会にしていきます。

10 家庭科教育

子どもたちが生活を見つめ、いのちとくらしを守るためにどうしたらよいかを考え合います。子どもに寄り添い、社会の課題に切り込んだ家庭科の実践をつくっていきましょう。

11 体育・健康・食教育

コロナ禍が長引く中、子どものからだところへの影響を明らかにし、すべての子どもに豊かな体育、健康教育(学校保健)、給食・食教育を保障するとりくみについて、実践報告をもとに学び合います。

12 生活指導・自治的活動

さまざまな悩み・課題を抱えた子ども・青年たちにどう向き合うか、自治的活動を通じ、どのような力を育むのかなど、ともに考え合い学び合しましょう。

13 発達・評価・学力問題

コロナ禍の生活、並びに教室の子ども姿を軸に、いじめ問題や子どもの願いにどう向き合い発達を支えていくのか、また、学力を伸ばすために大切にすべき発達の課題や評価について、学び考え合います。

14 障害児教育

「発達・学習権保障の道を強くすすもう!」をテーマに、全国から36本のレポート報告・討論をもとに、子どもから出発する障害児教育について深めます。

障害児教育分科会は、子どもたちのいのちと健康を守り、また、民主的な教育研究活動を守る観点から、今年度はオンラインを基本として開催します。開催地である高知の参加者と分科会運営を担う者で可能な者は現地で参加することがありますが、レポート及び参加者は上記の観点を踏まえて「オンラインを基本とする」ことにご理解とご協力をお願いします。

15 幼年教育と保育

幼年教育や小学校にみられる多様な子どもの姿から育ちの要求を読み取り、どの子どもにも大事にする保育・教育をめざして今後の幼児教育の展望を語り合しましょう。

16 思春期・青年期の進路と教育

コロナ禍で追い込まれている子どもと学校の現状を見つめ、一人ひとりの学びを保障する実践を共有します。子ども・若者支援のあり方について交流しましょう。

17 ジェンダー平等と教育

ジェンダー平等の教育は、すべての人の尊厳と性の権利を認め合い、個々の多様な幸せの実現につながります。ともに関心を育み、語り合い、学び合しましょう。

18 子どもの人権と学校・地域・家庭

子どもの権利条約を基軸とし、子ども・学校・地域・家庭等がおかれている状況を話し合います。また、子どもの学習権や人権を取りもどすための議論を深めます。

19 平和と国際連帯の教育

コロナ禍にウクライナ問題が加わり、憲法とこれまでの平和への学びととりくみにあらたな問いが突きつけられているように思えます。1年間の実践の報告をもとに学び合います。

20 学校づくりへの子どもの参加、 父母・教職員・地域の共同

コロナ禍で学校のあり方が問われている今、子どもの権利としての学びの保障、教職員の働き方、地域のあり方などについて全国の実践をもとに学び考え合います。

21 教育条件確立の運動

GIGAスクール、学校統廃合などの教育施策を学校現場の視点で検討し、子どもに豊かな学びを保障する学校と教職員のあり方について考えましょう。

22 環境・公害問題と教育

環境・公害問題は何処へ？ 私たちは未来に何を残せるのでしょうか？ 教育実践・市民活動を通して、地域課題からSDGsを考えてみましょう。

23 文化活動・図書館

子どもたちの生活の充実と健やかな成長を、学校や地域での活動を通して考えます。豊かな文化活動・図書館活動の実践・報告をもとに語り合しましょう。

24 教育課程・教科書

校内研究や学校行事を切り口にした教育・教育課程づくりを学び合います。政治主導の教科書介入やデジタル化のあり方を考え、よりよい教科書にする運動を交流します。

25 登校拒否・不登校の克服

「登校拒否・不登校」を考えることは、すなわち学校や教育を考えることです。この分科会では、教師・当事者・保護者・支援者などを交え、さまざまな視点で学び合います。

26 国民のための大学づくり ～大学教育と高大接続～

大学改革・共通テスト導入など高大接続改革、教員養成・研修制度等の改革により、大学と高校までの学校現場がどのような影響を受けているかを検討し、問題と実践の課題を考えていきます。

27 生活科・総合学習

今こそ命と平和の学びが求められています。また長引くコロナ禍とICT教育の押しつけの中、どう授業づくりをしていくか、一緒に学び合しましょう。

28 今日の教育改革——その焦点と課題

①ICT「活用」・DX推進、②教科書・教材改革、③学校・入試制度の再編、に焦点を当て、現場からの報告にもとづいてディスカッションを行います。

特設1 「道徳教育」のあり方を考える

「道徳科」の実践について、さまざまな課題が明らかになってきました。道徳教育の理論と実践についてレポートから学び、実践の方向性をつかんでいきましょう。

特設2 日本語指導が必要な児童・生徒と学校教育

日本語を母語としない子どもたちが、十分なサポートがないままに、学校に通っています。どうすればいいのか。当事者の思いを聞き、各地のとりくみを交流します。

※分科会への参加を希望される方は、実行委員会に参加する各団体、全日本教職員組合・教組共闘連絡会に参加する各都道府県の教職員組合本部にお問い合わせください。